【山崎名誉主宰の俳句】

もうすこし

山崎　聰

天地（あめつち）の大いなるとき虹二重

明日のこと思いわずらい蓮の花

東京にくらいところも秋の昼

もうすこしあるいてみよう秋の虹

東京をはなれて五年法師蟬

木造りのほとけ見ており秋はじめ

房総のはずれに住んできりぎりす

すこしあるいて大東京の秋に遭う

川越の菓子屋横丁草の絮

東京は人逢うところ秋の雨